

# 2023 年度 一般社団法人 鹿角青年会議所

## 理事長所信

スローガン



一見バラバラに見える多様なもの、人々があつまる事によって、ひとつの物事を成し遂げ（形の形成）  
また、そのことによって見つかる新しい発見（星）がある。

### ・はじめに

2019 年、青年会議所はより良い世界を目指す国際指標である SDGs を日本一推進する団体になり、現在でも目標達成のために尽力しております。SDGs の開発目標の中に多様性という言葉そのものは掲げられていませんが、「誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包括性のある社会の実現」を目指している事や、多様性を尊重する言葉が随所に記載されている事から、多様性は SDGs の根幹ともいえます。2023 年度のスローガンに掲げる「多様性」は、幅広く性質が異なる多種多様な価値観を認め、受け入れる事で、イノベーションの創出と、よりグローバル化する事により世界平和へ繋げる事ができる組織となりたい、という思いが込められています。また、副題にある discovery は、JC 運動、JC 活動の中で個人が新たな発見をしてもらいたいという方向性を示しています。

### ・40 周年

2024 年度には、鹿角青年会議所が 40 周年を迎える年となります。今まで多くの先輩諸兄が地域の発展のためご尽力されてきた思いを継承し、40 年という大きな区切りにふさわしい周年事業とするために、2023 年度から準備をしております。

また、2023 年度の鹿角青年会議所は、過去最少人数でのスタートとなります。平成 2 年（1990 年度）の正会員対象年齢人口に対する正会員割合は、約 0.79%（10359 人中 82 人）でしたが、仮に 2023 年度の期首会員数のまま 2025 年を迎えたとしたら約 0.3%（3962 人中 12 人）で、割合で言えば半数以下に減少しております。明るく豊かな社会の実現に向けて活動している青年会議所としては、会員数の減少は地域の衰退と捉えても差し支えない状況であり、地域にとって青年会議所の会員拡大は急務です。地域のため、そして 40 周年を

より良い形で迎えるためにも、会員数を増やし、地域活性へと繋がります。

・まちづくり

テレワークの普及や会食意識の変化、マスクの常識化など、With コロナから After コロナへ時代が移り変わっている今、事業や会議の行い方も変化してきました。そのような中でも、地域発展のために何か事業を行いたいという思いは変化していません。持続可能な社会の実現のために、一年の中で 1 つでも地域にインパクトのある事業を行い、地域活性に寄与する事と、大小問わずコンスタンスに地域発展に貢献していきます。

・結び

常に時代の変化に対応し、明るい豊かな社会にしていく活動・運動を続けるためには、多様性を認め、受け入れていく事で、その目標の達成に近づけます。青年会議所は自己成長と、地域貢献の団体とよく言われますが、すべての青年会議所が最上級の Vision として掲げているのは「世界平和」です。先の見えない時代だからこそ、多くを認め世界平和の実現へ向けて活動してまいります。

2023 年度 一般社団法人 鹿角青年会議所  
第 40 代理事長 奈良 大氣